

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策について	年2回の夜間想定訓練や火災通報装置の点検を行い、貯水タンクに井戸水、暖房器具、非常食を準備しており、今後も継続し、有事に備える。	・自家発電機(30アンペア)を準備し、この設備で賄う。 ・飲料水、食料品は3日分備蓄しているが、併設している有料老人ホームと併せて充実を図る。 ・水害、土砂災害の説明会に出席する。	10か月
2	49	日常的な外出支援について	四季に応じて外出行事を取り入れている他、お盆や正月には希望により自宅に帰っていただいております、今後も継続する。	引き続き、本人希望により理・美容院、衣類購入には付き添いで外出する。	1か月
3	45	入浴支援について	利用者が楽しみながら入浴できるよう、職員との交流の場として提供する。	入浴拒否のある利用者がいても創意工夫し、週2回、柔軟に対応する。	2か月
4	6	運営に関する利用者、家族等の意見の反映について	家族には毎月、日常の様子を書面で報告している。また、玄関に意見箱を設置し、プラン作成時にも話し合いの機会を設けており、今後も継続して取り組み、意見等の把握に努める。	家族に運営推進会議や行事等への参加を促す努力をしていく。	6か月
5	9	利用者の思いや意向の把握について	本人の今までの生活情報を収集し、なるべく家庭での生活に近い、日々の暮らしに近づける。	利用者個々の健康を第一に考慮し、日々の生活リズムの把握に努める。	2か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。